

## 鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

■ネイチャーセンターは休館中です（4/1～9/30）



### カワラヒワ

カワラヒワはちょうどスズメと同じ大きさ。見た目に派手さがなくて、パッと見ただけではスズメと区別が付きにくいのですが、一緒に働くレンジャーの田島さんは、飛び去る後ろ姿でカワラヒワと言いついてます。飛んでるカワラヒワは、V字に切れ込んだ尾羽が特徴的なのだそう。図鑑で見たら、なるほど尾羽がエビフライのしっぽのようです。特徴を知ると、野鳥の観察が楽しくなりますね。

（桜井）【7月1日 26℃/14℃】

## 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内

■周辺観光情報 ■自然ふれあい行事

※開館時間（4～10月）午前9時～午後5時



### まだ見られます！カキツバタ

6月中旬までは好天続きで、草花がぐんぐん生長していった印象ですが、最近はずっきりしない日が続いています。でも、これが「いつもの」釧路湿原の夏です。

さて、湿原では初夏を代表するカキツバタの花がまだ咲いています。道内各地では同じアヤメ科の仲間が見頃ですが、このカキツバタは外花被に網目模様がなく、シンプルな白線が特徴です。

（藤原）【6月28日 15.6℃/11.2℃】

## 釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

■湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事

※開館時間（4月～10月）午前10時～午後5時

◎入館料 無料



### 緑の光景

対岸の森とそれを映す塘路湖の湖面。深い緑色に包まれたこの時期ならではの光景です。

このような色彩が現れるのは、曇り空で風が穏やかな時。今年は6月の中旬以降、ずっきりしない天気が続いているため、湖畔に広がる緑の光景に出会う機会が例年よりも多くなっています。

外を歩くと肌寒さを感じるなど、夏とは思えない天気が続く塘路湖畔ですが、緑あふれる光景を見ると、今が夏であることを実感します。

（中野）【6月30日 19℃/16℃】